



船越こども園で「非認知能力」を育む

## 12月定例会の動き

11月	25日	招集告示 議会運営委員会	12月	9日	本会議（議案質疑） 予算特別委員会
	12月	2日		本会議（議案上程）	11日
4日		本会議（一般質問）		12日	常任委員会・分科会
5日		本会議（一般質問）		18日	議会運営委員会
8日		会派代表者会議		本会議（追加議案上程）	
				予算特別委員会	
				議会運営委員会	
		本会議（表決）			

## 記事内容

10月臨時会・12月定例会から	P 2～P 3
議案質疑	P 3
一般質問	P 4～P 8
陳情・意見書	P 8
予算特別委員会	P 9
常任委員会の動き	P 10～P 11
編集後記等	P 12

本市には様々な課題があり、なかなか議事に求められる使命は、市民の生活を守り、より住みやすいまちとなるよう、現場の声に耳を傾け、議論を尽くすことと受け止めており、引き続き、将来を見据えた施策の推進に努めてまいります。

むすびに、今年が本市にとって、また、市民の皆様にとりまして大きく飛躍する年となり、明るい一年となりますよう、心よりご祈念申し上げます。新春を迎えての挨拶といたします。

昨年を振り返りますと、私たちの暮らしを取り巻く環境は、物価高騰、人口減少や少子高齢化、地域経済の担い手不足など、先行きに不安を感じる出来事が重なった一年でもありました。

一方で、本市では複数のホテルの開業や新たな企業誘致等、明るい話題も数多く、男鹿の底力を感じる場面もありました。

まずとともに、日頃から議会運営に対し、ご理解、ご協力を賜り、心より厚くお礼を申し上げます。

お慶び申し上げます。市民の皆様には、すこやかな新春をお迎えのことと、心より



新春を迎えて  
男鹿市議会議長 小松 穂積  
新年おめでとうございます。

10月臨時会  
12月定例会

10月臨時会は10月20日に招集され、「男鹿潟上南秋消防組合の設立」や「男鹿地区消防一部事務組合の規約変更・解散・財産処分」に関する4議案をそれぞれ可決しました。12月定例会は12月2日に招集され、12月18日までの17日間の会期で開かれました。今定例会では、条例改正案や補正予算案など36議案が市長から提案され、審議の結果、全ての議案を可決・承認しました。また、最終日に追加提案された国からの重点支援地方交付金を活用した事業の経費を盛り込んだ一般会計補正予算案や、国のガス料金負担軽減支援事業に伴う条例改正案など3議案を可決したほか、議案案3件を可決し閉会しました。

※会議録は「男鹿市議会会議録検索システム」からご覧いただけます。

10月臨時会

●防災力強化に向けた取組について

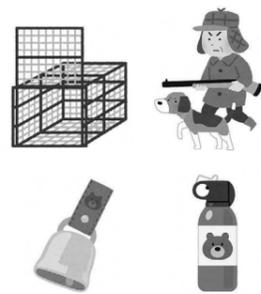
9月23日、内閣府・秋田県と共同で「秋田県孤立集落状況把握・支援訓練」が大規模に実施されました。陸・海・空の自衛隊をはじめ、33に及ぶ各種機関と椿・北浦地区の住民を合わせた約400人が参加し、救援物資や避難住民等の輸送、避難所開設の流れを確認したほか、ヘリコプターの離着陸の検証が行われました。

また、10月11日には、日本赤十字社北海道・東北支部主催の「災害救護訓練」が行われ、避難所の衛生管理や医療的支援の在り方に関し、知識と実践を深めたとしています。議会では、半島特有の地理

12月定例会

●ツキノワグマ被害防止対策について

クマの出没が頻発化する中、専決処分により箱わなの追加購入や緊急銃猟時の防具整備、撃退スプレーの配布等、人的被害防止に向けた緊急的対策が講じられたほか、連日のクマ対応で負担が増大する猟友会会員の出勤報償費の大幅引上げに係る経費も盛り込まれ、いずれも承認・可決しました。議会では、これまでも対策強化に向けて継続的に議論を重ねてきましたが、何よりも



市民の皆様の安全・安心の確保を最優先に、引き続き、実効性のある被害防止対策を提案していきます。

●物価高騰対策について

原材料費の高騰や物流費・人件費の上昇など、長引く物価高が市民生活や事業活動に大きな影響を及ぼす中、気象災害やクマの異常出没等も相まって、地域を取り巻く環境は一層厳しさを増しています。こうした状況を踏まえ、当

可決した主な議案

10月臨時会

●「男鹿潟上南秋消防組合」の設立

《主な内容》新消防組合を設立することについて、関係地方公共団体（潟上市・八郎潟町・井川町・大潟村）と協議するためのもの。

●男鹿地区消防一部事務組合「規約の一部変更」「解散」「解散に伴う財産処分」

12月定例会

〈条例〉

●督促手数料の廃止に伴う関係条例の整理に関する条例  
《主な内容》市税と税外収入金の督促手数料を廃止するもの。

●商業振興促進条例の一部改正  
《主な内容》奨励措置の適用要件を見直すもの。

●ガス供給条例の一部改正  
ほか9件

〈予算〉

●一般会計補正予算（第4号）の専決処分  
《主な内容》緊急銃猟時の捕獲関係者の安全確保に必要な備品等を整備するとともに、クマの捕獲態勢の強化に要する経費を措置した

もので、歳入歳出それぞれ641万9000円を追加するもの。

●一般会計補正予算（第5号）  
《主な内容》鳥獣被害対策実施隊員の出勤・捕獲等の報償に関連する経費、異常気象により被害を受けた農業者の経営継続を支援するための経費、物価高の影響を受けている生活者や事業者を支援するための経費、給与改定・職員員の異動調整による人件費等を措置したもので、歳入歳出それぞれ3億9148万1000円を追加するもの。

●一般会計補正予算（第6号）  
《主な内容》国の物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金を活用し、物価高騰の影響を受けている生活者や事業者を支援するための経費を措置したもので、歳入歳出それぞれ3億4472万2000円を追加するもの。

ほか8件

〈その他〉

●指定管理者の指定  
《主な内容》斎場ほか13施設の指定管理者を指定するもの。

●財産の取得  
《主な内容》災害用大型トイレカー11台を取得するもの。

ほか1件

〈議員提出議案〉  
意見書3件

議案  
質疑

10月臨時会

●男鹿潟上南秋消防組合の設立など、消防広域化について

質疑 人口減をはじめ、市町村を取り巻く環境が目まぐるしく変化している状況の中、組織の広域化が求められることは、ある意味では必須な動きという認識にある。ただし、可能な限り経費は削減しながら消防のサービスは維持すべき考え方が基本である。消防広域化後の新組合の下、消

長引く物価  
物価高騰  
「生活者・事業者・

高に効果的な支援を！  
対策4億9,640万円余  
子育て」支援、いち早く市民のもとへ

局からは、国の「重点支援地方交付金」を最大限活用しながら、時機を逸することなく支援策を講ずる必要があるとの見解が示され、物価高騰対策として総額4億9640万1000円の関連事業費が提案されました。生活者支援をはじめ、地域経済を担う事業者の下支えのほか、子育て世

防活動を展開する上で、男鹿市の負担金の考え方とは。  
答 各市町村の負担金は、国が消防署や救急体制の維持のため全国共通の基準で見積もり、普通地方交付税として配分する額を一律に負担した上で、不足分を人口割合に応じて負担することとしている。これは、人口や財政規模、面積を含めた地理的条件が異なる状況下において、将来にわたり公平な負担の在り方として最適な手法と判断したもので、全国でも約6割の消防一部事務組合が採用している。

また、現在、本市では毎年約7億円の負担金を支出している現状であるが、広域化による組織の効率化やスケールメリットにより、20年後には単年度で約8000万円の負担金の削減が図られると試算

12月定例会

●財産（災害用大型トイレカー）の取得について

質疑 市では様々なイベントが開催され、簡易トイレのリース料に相当な予算が投じられている。災害時におけるトイレ環境の整備を導入の主目的としているが、平時においては使用しないのか。有事のみの活用にとどまら

しており、市の財政事情がますます厳しくなる中において恒常的な経費の削減が図られる効果は非常に大きいものと認識している。  
なお、広域消防組合の経費のうち約8割が人件費であり、署所の統合が進み人員の削減が図られることにより、20年間の総額で約9億円の削減効果が期待できる。

ず、市のイベント等に活用することで、車両等の維持管理にもつながるのではないかと。

答 災害時の備えとして万全を期すべく、非常に高額な車両を購入するが、本来は使用する機会がないことが望まれる設備である。このため、様々なイベント等で災害用資材とともに積極的に活用し、市民の防災意識の高揚を図っていく。



▲秋田県災害用大型トイレカー



蓬田 司 議員 (政 和 会)

市民が幸せを感じるまちづくりについて

**質** 市民が幸せを実感し、幸福度が向上するためには、市長は何か一番重要と考えるか。

**答** 市民ニーズの反映を重視し、総合計画に反映させ、幸せの実感に直結する内容にしたいと考えており、計画に掲げる取組を着実に推進し、目に見える形で成果を挙げ、一人一人の幸福度の向上と幸せを感じるまちづくりにつなげていく。

旧潟西中学校へのデータセンター誘致について

**質** 市内のどのような業種への経済波及効果および関連産業の雇用創出が見込まれるか。

**答** 計画では、建設時の建築、土木、電気設備工事等への関連企業の参入はもとより、その後の運用に伴う関係者の宿泊や飲食など、幅広く地域経済への波及効果が期待される。

市内各地区ごとの活性化対策について

**質** 想定される地元貢献策と地元雇用は。

**答** 小・中学生を対象としたプログラミング教室の開催や、排熱の施設園芸への利用等にも意欲を示している。雇用面では5名から10名ほどが予定されており、様々な面で地域の活性化に好影響をもたらすと期待している。

**質** 地区ごとの活性化イベントを持ち回りで実施する考えはあるか。

**答** 地域の特徴や課題に応じた取組を実施している。主な例として、男鹿中地区では笑いヨガを取り入れた健康増進運動、脇本・椿地区では災害時の自助・共助の取組など、住民の声を反映した形で様々な活動が行われている。また、地域振興基金活用事業の取組では、船越町内連合会主催による小学校児童との世代間の交流を図るなど、地域の連携を深める取組が進められている。

さらには、地域おこし協力隊と集落支援員の共同企画により戸賀地区で開催された「OGA CO NNECT」では、男鹿の魅力に触れながら交流を深めており、今後は若美地区をはじめ、他の地域での開催も検討していく。



田井 博之 議員 (新 風 会)

サイバー攻撃に対するデータ管理と対策について

**質** サイバー攻撃を受けた場合の初動対応計画はあるか。

**答** 来年3月までに本市の基本方針を市ホームページで公表するとともに、サイバー攻撃に備えた初動対応手順の整備や、必要な体制見直しに向け、現在準備を進めているところである。万一の際には、システムやネットワークに関連する事業者、国や県などと連携して迅速に対応できるよう、サイバー攻撃への備えを一層強化していく。

鶴ノ崎海岸の管理強化と使用時の有料化について

**質** 有料化にすることで、維持管理に伴う財源確保や利用者のマナー向上につながるかと考えるが、

**答** 海岸の管理主体である県と協議する考えの有無を含めた市の見解は、観光スポーツの有料化については、他県の事例を見ると、近年は特にオーバーツーリズムに

想定される地元貢献策と地元雇用は。

**答** 小・中学生を対象としたプログラミング教室の開催や、排熱の施設園芸への利用等にも意欲を示している。雇用面では5名から10名ほどが予定されており、様々な面で地域の活性化に好影響をもたらすと期待している。

**質** 地区ごとの活性化イベントを持ち回りで実施する考えはあるか。

**答** 地域の特徴や課題に応じた取組を実施している。主な例として、男鹿中地区では笑いヨガを取り入れた健康増進運動、脇本・椿地区では災害時の自助・共助の取組など、住民の声を反映した形で様々な活動が行われている。また、地域振興基金活用事業の取組では、船越町内連合会主催による小学校児童との世代間の交流を図るなど、地域の連携を深める取組が進められている。

さらには、地域おこし協力隊と集落支援員の共同企画により戸賀地区で開催された「OGA CO NNECT」では、男鹿の魅力に触れながら交流を深めており、今後は若美地区をはじめ、他の地域での開催も検討していく。



小野 肇 議員 (市民クラブ)

陸上風力発電設備の安全性について

**質** 秋田市の風力発電設備のブレードの破損・落下事故を踏まえ、安全基準や点検の見直し、設置・運営に市が一定程度関与するべきと考えるが、市の考えは。

**答** 安全に関わる基準策定等に市が直接的に関与することは困難と認識している。一方で、安全基準の見直しと併せ、情報共有の体制づくりについては、市長会を通じて国へ要望を行っているほか、市内事業者に対して平時からの密な情報共有を要請している。

**質** 今後、陸上風力の建設計画があった場合、安全対策について強く意見を発出するべきでは。

**答** 今年4月に市独自の再生可能エネルギー事業の導入に関するガイドラインを改定した。計画段階から市との事前協議を行うことを明記し、市の基本的な考えを通知し、安全性の確保や周囲環境との調和が図られた計画であることを大前提にしている。

複合交流施設の計画について

**質** 市民ニーズを把握するためのアンケート調査やヒアリングの実施、市民とのワークショップの実施時期はいつ頃か。

**答** 市民アンケートは郵送とWEBによる方法を併用し実施予定。ワークショップは年明け1月中旬の開催に向け準備を進めている。

**質** 10億円から15億円としている建物本体の概算工事費の積算根拠とは何か。

**答** 図書館をはじめ、子ども向け屋内遊具、子育て支援機能、多世代交流スペース等を仕様書に示した。他の自治体における類似施設の事例を参考にし、建物本体工事費のみで、土地の購入費や賃借料等は含んでいない。

**質** 市民が望む「屋内の子どもの遊び場や運動場」を備える考えはあるか。

**答** 「屋内の子どもの遊び場」については有力候補の一つだ。

**質** 「施設を造ることでそこに人を集めよう」としているのか、それとも「人のいる場所に施設を造ろう」としているのか。

**答** 市民の意見や地域の特性等を勘案しながら、どこに整備することが市全体にとって一番波及効果があり望ましいのか、総合的に比較・検討していく。



吉田 洋平 議員 (政 和 会)

全天候型子ども遊び場の整備と、男鹿ならではの学び・体験拠点の創出について

**質** 全天候型子ども遊び場整備の検討状況は。

**答** 図書館を核とした複合施設の整備に当たり、天候に左右されずに遊び、過ごすことのできるスペースや機能を設けることについて検討している。遊び場について考えるワークショップでは市内小学生が参加し、そこで出た意見・内容を高校生・大学生を対象としたワークショップにおいて提言書が取りまとめられる予定となっており、検討する際の参考にしていく。

**質** 外部専門事業者や大学等との連携の考えは。

**答** 独創的で魅力ある施設を整備する上で専門性を有する外部事業者と連携・協働することは有効な方策の一つと認識している。また、教育機会の創出や国際的視野の育成は地域の未来を担う子どもたちにとって重要な要素であり、本施設においても検討に値する視点で

あると考える。

空き家の利活用と『なまはげ』伝統文化の体験・継承を通じた地域活性化について

**質** 空き家の利活用となまはげ体験を通じた地域活性化策の事業化に対する市の評価は。

**答** 男鹿ならではの伝統文化を地域課題の解決に有機的に活用しようとする考え方には共感できる。しかしながら、こうした構想の実現にはプレイヤーの確保と地域全体で取り組む機運の醸成が絶対的に必要である。各地区の意向を十分に尊重し、行事の保存継承や住民の生きがい創出に向け慎重に可能性を探っていく。

石焼料理を活用した観光誘客の方策について

**質** 男鹿市観光の体験型・キラークンテンツとしての可能性と活用の考えは。

**答** 台湾にトップセールスで訪れた際に、男鹿でしか体験できない食のコンテンツとして訴求力を強く感じた。石焼料理は、発祥の地とされる男鹿温泉郷のほか、観光需要が安定的に見込まれる施設で提供されており、好評を博している。市としては、飲食店と観光客のニーズを共有しながら提供体制の充実に努めていく。



太田 稷 議員  
(市民クラブ)

民生・児童委員の担い手確保と地域支え合い体制の再構築について

**質** 高齢化と欠員増加の中、現員数・欠員数・平均年齢などの実態、今後の見通しをどう分析しているか。また、若年層や退職世代等への働きかけ、報償・支援体制の見直しに関する今後の方針は。さらに、「地域支え合いプラットフォーラム」を構築する考えは。

**答** 改選の結果、定数130名中107名を委嘱し、欠員23名、平均年齢は69・6歳である。報償費は1万8000円から3万円へ増額する補正予算案を提案している。若年層や退職世代へ働きかけたが、共働きや定年延長等の理由から前向きな返事をいただけず現状である。「地域支え合いプラットフォーラム」は、本市にも同様の機能を持つ組織が複数あり、現時点で新組織の設置は考えていない。欠員地区は、社会福祉協議会の事業と一層連携し、福祉サービスへのアクセスが滞らないよう取り組んでいく。

図書館を核とした複合交流施設の整備と立地の在り方について

**質** 老朽化した図書館に代わる複合交流施設整備の考え方と、市民参加の具体的な方法をどのように進めていくのか。また、立地選定にあたり、人口分布・公共交通・商業動線など、どのような比較基準で検討しているのか。

**答** 市民サービスの向上と施設を核としたにぎわいの創出、地域の活性化を図るため、より多くの人が集い、学び、交流する拠点を目指し、現在基本構想の策定を進めている。

市民の意見やニーズを把握するため、郵送とWEBによるアンケートを実施し、年明け1月中旬のワークショップ開催に向け準備を進めている。寄せられた意見等を最大限構想に反映させたいと考えている。建設場所は、市内全域を対象に、既存施設の活用も含め、市全体への波及効果、現状の土地利用状況や法規制、景観などの特性を整理し、整備後の運営や持続性等も考慮しながら、各候補地のメリットとデメリットを整理し、どこに建設することが市全体にとって最適を比較検討していく。  
【その他質問事項】  
●クマ出没を踏まえた安全・防災と空き家利活用について



進藤 優子 議員  
(公明党)

防災・減災対策について

**質** 「令和6年能登半島地震を踏まえた秋田県防災・減災方針」策定後の具体的な取組の進捗状況は。

**答** 本市の半島西側集落の避難所に備蓄倉庫を整備し、アルファ米や保存食を追加配備したほか、避難所で温かい食事を提供するため、かまどセットや浄水器、コンロを、また、防寒対策として防災用テントやストープ、防寒アルミシート等を専用配備した。  
さらに、大型トイレカーや電動簡易トイレ、キッチン資機材と積載車、段ボールベッド等、避難所でのトイレ・キッチン・ベッドの「TKB」の環境整備に力を入れているとともに、停電対応としてポータブル電源やソーラーパネル、衛星無線機やスターリンクを導入し、避難所の環境改善を進めている。いかなる災害が発生しても「犠牲者ゼロ」を目指し、災害に強い安全なまちづくりを、市民の皆様と一緒に着実に進めていく。

**質** 観光客への対応として、観光危機管理体制の取組は。  
**答** 観光庁のマニュアル等も参考にしながら適切な対応が取れるよう、本市で想定される災害や、発災時の対応の課題等を関係団体・観光事業者と共有し、情報伝達や避難誘導、帰宅困難者への対応など、観光防災の在り方を検討・整理していく。

成年後見制度について

**質** 現状と課題、今後の見通しは。  
**答** 高齢化率の上昇に伴い、成年後見制度の利用者が今後も上昇していくと見込まれている。知的障がいや精神障がいを持つご家族の団体からは、「親亡き後」の権利擁護を心配する声も寄せられている。制度の周知と利用促進に努めるとともに、市が設置している「成年後見制度利用促進協議会」において関係機関との連携を強化し、地域全体で支える体制の構築を図っていく。

**質** 成年後見人等が各種通知等の送付先変更を一括して登録・変更できる仕組みを導入することで、利用者の負担軽減や行政事務の効率化を図られるのでは。  
**答** 通知先変更のワンストップサービスの仕組みを早期に導入できよう検討を進めていく。



安田健次郎 議員  
(日本共産党)

物価高騰対策について

**質** 国では20兆円を超える補正予算を審議しているが、市民・事業者・町内会等、市としても広範な手だてが必要ではないか。  
**答** 国では、子育て応援手当やガソリン暫定税率の廃止、電気・ガス料金の負担軽減支援を実施することとしており、市としても時機を逸することのないよう、灯油購入費への助成や福祉介護施設への支援、観光事業者や農業・漁業者をサポートするための関連経費を計上している。今後、重点支援地方交付金の全容が示されることを見据え、個別事業の検討を進めている。

公共インフラの維持管理について

**質** 年々激しくなる異常気象や温暖化が人々の暮らしを脅かしているのではないかと、市としてもブルーカーボン実証プロジェクトなどの取組を実施しているが、新たに水田の中干し期間の延長による「Jクレジット創出販売事業」

や、梨の剪定枝を活用した「4パーミル・イニシアチブ」への取組を検討するべきではないか。

**答** 来年度からJA秋田なまはげが、Jクレジットの申請手続など農業者の参入をサポートする予定と伺っている。市では情報を周知しながら参入しやすい環境づくりを後押ししていく。4パーミル・イニシアチブについては、脱炭素社会の実現に向けた有効な取組であり、関係者と相談していく。

福祉問題について

**質** 要介護1・2の生活援助の保険給付外し、利用料2割負担の対象拡大等の介護保険制度の改正が進められようとしている。利用者への負担を強いる改正ではなく、寄り添った施策を進めるべきではないか。

また、高すぎる国保税の引下げ対応を検討するべきではないか。  
**答** 本市が目指すところと相入れない内容であり、慎重の上にも慎重に判断すべきであるが、2割負担の対象範囲拡大については、急激な負担増とならないような配慮を講じるべきである。

国保税については、3年をめどに見直しを行い、昨年度、税率の引下げを行っている。法定外の繰入れを行うことのないよう、国保税の安定的な運営に努める。



船木 正博 議員  
(市民クラブ)

男鹿市のクマ対策について

**質** 全国的にも近年のクマは「人慣れ、住宅街への進出、昼間の活動」などの従来とは異なる行動を示しており、これまでと同じ対策では不十分との指摘がある。  
男鹿市としても「緊急時の情報伝達の迅速化、住宅地への侵入経路の監視、ごみ・果樹・放置作物など誘因物対策の徹底、市民教育、地域ぐるみの対策」などの課題が挙げられる。

市民の命と安全を守る視点から、男鹿市の特性を踏まえた上で、現時点において最も重大な課題をどのように捉えているのか。

**答** 本市は半島という地理的特性もあり、かつて「クマはいない」と言われ、実際、これまで他の地域と比較して目撃情報が極めて少ない傾向にあったが、近年は頻繁に出没している。

この状況を踏まえ、本市のクマ対策において最も重要なことは、まずはクマの侵入を許さず、侵入してしまつたクマは全て排除し、

本市からクマを根絶させることであると考えている。

今後とも、クマの侵入を防止するため、餌となる集落周辺の柿や栗の木の伐採、やぶの刈払い等による見通しの確保に努めるとともに、侵入したクマの排除のため、猟銃や箱わな等による捕獲を徹底していく。

令和8年度予算編成方針について

**質** 現在、次期「総合計画」を策定している最中であり、「行政改革大綱」もこの計画に統合するとしているほか、令和8年度は、その新しい総合計画の初年度に位置づけられている。  
こうした状況の中、これまで以上に「選択と集中」が求められているが、新年度予算編成にあたっての主たる重点施策と予算配分をどのように展望しているのか。

**答** 本市の財政運営は大規模公共投資の起債償還が本格化するなど、引き続き厳しい状況が続く見込みであり、令和8年度の当初予算編成にあたっては、現在策定を進めている次期総合計画の下、「産業力の強化、子育て環境日本一への取組、防災力の強化」の三つを新たに重点戦略に位置づけ、これに基づく新規事業や既存事業の拡充などを積極的に措置していきたいと考えている。



古仲 清尚 議員 (明 政 会)

市保有情報資産の管理・運用について

【質】 デジタル活用が社会のあらゆる面で拡大する一方で、情報システムの脆弱性を狙ったサイバー攻撃により、不正アクセス、システム障害等が大きな社会問題となっている。地方公共団体にとって、有事の際、住民情報の流出や、行政サービスの停止など行政機能に甚大な被害を及ぼす危険性を潜めている。安全な行政サービスを維持するためには、情報システムを安定的に保ち、情報セキュリティに関する脅威や変化への対応等、脆弱性への対策が重要になる。市が保有する情報資産を適切に管理・運用するリスクマネジメント（危機管理・業務継続）の対応は、

マイナンバー利用事務系への侵入が極めて困難な構造とすることで、情報システム全体の強靭化を図っている。現在、作業を進めているサイバーセキュリティの確保に向けた基本方針の策定と併せて、対策の実行確保と対策レベルの一段の強化を図るため、初動対応手順に加え、業務継続の手順についても整備を進めていく。

HPV感染症対応の現状について

【質】 HPV（ヒトパピローマ）感染症は、子宮頸がんを主として肛門がん、膣がんなど、多くの病気の発生要因となり得る感染症である。公衆衛生のさらなる前進のため、国においても、男性への接種について公費助成の定期接種化に向け検討されている。本市のHPV感染症対応の現状は、

【答】 本市ではHPVワクチンの接種において、国の接種率を上回っているが、まだ十分な状況ではないことから接種率向上のため、引き続きワクチン接種に係る知識の普及・啓発や個別通知などにより勧奨に努めていく。男性への対応については任意接種とされているが、9価ワクチンが薬事承認されるなど対応が進んでいるものと認識している。市としても、男性の定期接種化について、引き続き、国の動向を注視し対応していく。

陳情

- 令和8年度理科教育設備整備費等補助金予算計上についてのお願
新基本計画実装・農業構造転換支援事業における男鹿製選果場の選果機システム等導入に対する支援要請
夜勤規制と大幅増員で安全・安心の医療・介護の実現のため国に意見書提出を求める陳情
ケア労働者の処遇改善のため、報酬10%以上引上げを求め国に意見書提出を求める陳情
「介護保険制度の抜本改善、介護従事者の処遇改善を求める」国への意見書提出を求める陳情
最高裁判決に基づきすべての生活保護利用者に対する速やかな被害回復措置を求める国への意見書提出の陳情
「小・中学校給食費の完全無償化」のため、秋田県へ財政支援を求める意見書提出の陳情
学校教材備品の計画的な整備推進についてのお願い

意見書

- 国民の主食である米の価格を統制することを求める意見書の提出に関する陳情
インボイス制度の廃止をめざし、事業者の負担を軽減する経過措置を継続するよう求める意見書を国に送付することを求める陳情
臓器移植に関わる不正な臓器取引や移植目的の渡航等を防止し、国民が知らずに犯罪に巻き込まれることを防ぐための環境整備等を求める意見書提出の陳情
夜勤規制と大幅増員で安全・安心の医療・介護の実現を求める意見書
「介護保険制度の抜本改善、介護従事者の処遇改善を求める」意見書
「小・中学校給食費の完全無償化」のため、秋田県へ財政支援を求める意見書
3件が可決されましたので、市議会の意見として、政府関係機関等へ送付しました。

予算特別委員会

全議員で構成する予算特別委員会（小野肇委員長、吉田洋平副委員長）で、付託された一般会計補正予算案等について審査し、いずれも原案のとおり、可決すべきものと決しました。委員会では質疑のあった中から主なものを取り上げ、その要旨を掲載しました。

民生・児童委員活動費の改定について

【質疑】 民生委員からの連絡や手助けが高齢者等に大きく期待される中、民生委員の不足をどう認識しているのか。

【答】 担い手の確保に向けては、町内会長とも協力しながら、引き続き、諦めずに地域に向かい、周知に努めるとともに、商工会や建設業協会など各種団体に対しても働きかけていく。



▲民生委員委嘱状授与式

人件費について

【質疑】 今後の市職員等の給料レベルの方向性と、市職員に対して期待する役割とは何か。

【答】 市内企業の中で市職員の給料は高いほうにあると思われるが、大手企業から見ればかなり低い状況だと認識しており、昨今の問題として、



重点支援地方交付金を活用した物価高騰対策事業について

【質疑】 「生活者支援」と「事業者支援」とのバランスに鑑み、「生活者支援」をもっと手厚くする考えはなかったのか。

【答】 「子育て支援」は別枠として、総額で約4億5500万円の補正予算を計上させていただいた。「生活者支援」として市民応援プレミアム付商品券事業や低所得世帯に対する食品価格高騰給付金など約2億5000万円、「事業者支援」として約2億円を予算計上している。

【質疑】 物価高を見れば、円安という最大の難点はあるものの、おおむね3%程度の物価上昇率を乗り越えていくためには企業が儲かり、物価高騰分を価格に転嫁して収益を上げ、賃金に反映させることが望むべきことである。

【答】 昨今の物価高を見れば、円安という最大の難点はあるものの、おおむね3%程度の物価上昇率を乗り越えていくためには企業が儲かり、物価高騰分を価格に転嫁して収益を上げ、賃金に反映させることが望むべきことである。ただし、賃金が追いついていない状況の中、高市総理の号令の下、まずは「生活者支援」の枠組みの中で「食料品の高騰に対する特別加算」が



▲予算特別委員会での審議

委員会・分科会の動き

各常任委員会・分科会は、付託議案等と所管の予算案を審査しました。質疑のあった主な事項は、次のとおりです。

総務

●職員給与改定・議会議員報酬改定について

●説明 県人事委員会の給与等に関する報告・勧告に準じて給与改定等を行うもので、改定に伴う令和7年度予算への影響額は、公営企業会計も含め約1億4000万円である。

●説明 市税・税外収入金における督促手数料を廃止することで、納税の利便性と徴収事務の効率化を図るものである。

●複合交流施設整備の検討について
●質疑 整備地区の議論を念頭に、「人や経済の交流拠点」と「均衡ある発展」の考え方は。

船川・船越が人や経済の交流の中心になるのではないかと。また、過去には「均衡ある発展」を掲げていたこともありますが、人口が減少し、財政状況も厳しい中で、全てにおいて均衡を図ることは現実的ではなく、地域の「個性を生かした発展」が重要である。

●質疑 施設の規模感を含めた基本的ビジョンは。
●答 施設の新設や改修、どのような機能を持った施設とするのか、予算を含めた規模感に関して、現時点で確定したものはなく、今後のアンケートやワークショップ等、様々な意見を伺い、整理のうえ取りまとめしていく。

●質疑 高校統合後の校舎を県と共同で整備する考えや、民間施設を活用する考えはあるか。
●答 今現在、そうした動きはないが、仮に県と連携し費用を抑えた上で、よりよい施設を実現できるのであれば、非常にありがたいことである。ただし、今年度は基本構想、来年度は基本設計、その後、



▲進捗状況を現地で確認

設計、建設という市の事業スケジュールが先行しているため、県との連携はタイミングからして難しいと考える。また、活用できる施設の有無や取得経費等を総合的に判断した上での検討となるが、現時点で民間施設の活用は想定していない。

●移住体験住宅の整備について

●総合計画(案)について
●質疑 計画を着実に進める上で、財政健全化との連携が必要ではないか。
●答 計画の進行に当たっては、毎年、中期財政計画で今後の財政負担の見通しを試算しており、必要性や緊急性、

年度間の均衡等も考慮し着実に進めるとともに、総合的な施策展開により、自主財源の確保に努める。
なお、随時、財政状況を吟味しながら取組を進めていくが、重点的部分にしっかりと投資できるよう、経常経費の削減等の努力を重ねていく。

教育厚生

●成人式「明日を創る成人の集い」について

●質疑 自身の進路を確定させる時期において貴重な機会であるが、市内企業を紹介することで「男鹿市で働ける、生活できる」といった契機を与えることができるのではないかと。こうした将来につながる取組を実施する計画はあるか。

●答 今年度展開した市の動きや企業の紹介、男鹿駅前のにぎわいを収めた動画を作成し、当日上映する計画で準備を進めているほか、地元で働く二十歳の若者の姿を動画で上映する予定としている。

●答 計画の進行に当たっては、毎年、中期財政計画で今後の財政負担の見通しを試算しており、必要性や緊急性、



▲新成人「笑顔咲く未来へ」

●みなと市民病院の経営(資金不足)について

●質疑 医療収益の改善に努めても資金不足は発生してしまっているのか。短期的な見通しをどのように考えているのか。

●答 今年度の決算見込みでは資金不足が2億円強となり、来年度も資金不足が生じる見込みである。

●解消するためには倍以上の純利益を上げていく必要があるが、今年度の病院事業収入は、地域包括ケア病棟の患者数が前年度対比で50%の増、病床利用率も全体で80%を超えるなど、前年度と比較し、

新消防組合議員を選出

「男鹿地区と湖東地区」の両消防本部を統合する「男鹿潟上消防本部」の「組合設立」に向けて、定例会最終日、組合議会議員の選挙を行いました。

選挙は議長による指名推薦で行われ、男鹿市から4人を選出しました。

「新消防本部」を運営する「新組合」は、令和8年1月1日に設立され、同4月1日からの運用開始に向け準備を進めるとしています。

- 【男鹿潟上南秋消防組合 選出議員】
・ 島山 富勝(市民クラブ)
・ 蓬田 司(政和会)
・ 吉田 洋平(政和会)
・ 佐藤 誠(明政会)

※定数14人、うち男鹿市4人、潟上市4人、八郎潟町2人、井川町2人、大潟村2人



決算ベースで3億円ほど増加する見込みであるものの、医療費用も物価高騰や給与改定に伴う人件費の影響により1億円ほど増加している。
資金不足を解消するためには医療収益を増加させることが最善であるが、診療報酬に頼るしかなく、厳しい状況が続いている。一般会計から資金を投入するか、経営改善推進事業債を借りて長期債務に切り替えるなど、資金不足解消の計画を立てる必要がある。

●総合計画(案)について

●質疑 「教育・保育の質の向上と環境の整備」において、幼児教育に対する取組が明確になっていない。もっと特色を出していくべきではないか。

●答 「小1プロブレム」対策として、根気強さや意欲、自制心、思いやりや協調性、コミュニケーション力等の「非認知能力」を育成するなど、「モデル地区を構築すること」「幼保小の連携」が具体化しつつあるほか、認定こども園での「英語遊び」に関する取組も実施され始めている。特色を出すことは本市のPRにもつながることから、幼児教育・保育に特化した各種施策の具現化に向け、さらなる

産業建設

●商工業振興促進条例の一部改正について

●質疑 これまで「5年間」としてきた「固定資産税の課税免除期間」の考え方は。
●答 令和5年12月定例会で、固定資産税の課税免除期間を「3年間から5年間」に、施設整備費補助金の上限額を「3000万円から1億5000万円」に改正させていた

だいたいの際、他市町村に劣後しない制度とし、少しでも訴求力のある誘致活動を展開するとともに、過疎の制度に合致すれば、基本的には固定資産税の課税免除額の75%が交付税算入されるという腹積もりもあった。

幸い改正後の誘致活動によって幾つかの案件が生まれたところであるが、今後も大型設備投資案件が継続し奨励措置による補助の交付額が増加していく状況において、本市の厳しい財政事情を考えれば、企業誘致を継続していく上で、設備投資に伴う本市への経済効果の発現を早めるためにも課税免除期間を3年間にした

というものである。
●質疑 現行条例下で進出を決めた企業は「5年間」としているが、現行条例改正後の「3年間」とすべきではないか。

●答 既決案件の企業については、現行条例下の条件で進出を決め、立地協定締結に至るものであり、交渉時における信義に背くことにもなるため、5年間の課税免除でもって対応させていただきたい。



▲完成間近！男鹿駅前の民間ホテル

●クマ対策について

●質疑 「多面的機能支払交付金事業」で「草刈り・やぶ払い・誘引樹木伐採」等を実施するのにも対策の一つでは。

●答 市長会等を通じて国に対応方など要望していく。

●農作物災害復旧支援事業(和梨の農薬購入支援)について

●質疑 収入保険で賄われ、それほど大きな減収にならない農家もいるのではないかと。

●答 米と複合している農家については米価高騰で相殺され、全体では収益が落ちているとみられるため、一概に収入保険で全て賄えるとは言えない状況となる。また、収入保険で大部分が賄われたとしても、それを越えるような助成にはならないと考える。

●金川近隣公園施設の見直しについて

●説明 今後、「プール」は解体や跡地利用等を検討していくほか、「金川グラウンド」はイベント広場や駐車場等への利用を検討していく。

●市道飯の森・角間崎線沿いの「水路」について

●意見 これまでほとんど整備されておらず、石垣や護岸の崩壊が相当程度進んでいる。具体的な事業計画を策定し、早急に取り組みべきである。

●任期満了に伴う農業委員の公募について
●意見 若干名削減し、その財源を報酬に上乗せすることをぜひ検討いただきたい。



## 令和7年度行政視察の受入状況

様々な行政課題を解決するため、先進的な取組を行っている全国の自治体を実際に訪問し、調査研究を行うのが「行政視察」です。男鹿市議会でも、これまで全国からたくさんの行政視察を受け入れており、今年度の受入実績をご報告いたします。



▲「地域みらい留学」の調査研究を行った千葉県議会文教常任委員会の皆さま

### ★ 令和7年度受入実績 ★ 5議会 / 40人

#### ◎視察テーマ

- ・子ども・子育て支援事業（福島県田村市議会）
- ・観光振興を生かした地域振興の取組（千葉県富津市議会）
- ・地域みらい留学に関する取組（千葉県議会）
- ・地域主導による洋上風力発電の推進に向けた自治体の役割（北海道松前町議会）
- ・学校統廃合（三重県鈴鹿市議会）



### 3月定例会の予定

2月	17日	招集告示 議会運営委員会	3月	9日	常任委員会・分科会
	24日	本会議（議案上程）		10日	常任委員会・分科会
	26日	本会議（一般質問）		17日	予算特別委員会
	27日	本会議（一般質問）			議会運営委員会 本会議（表決）
3月	2日	本会議（一般質問）			
	3日	本会議（議案質疑） 予算特別委員会			
	4日	予算特別委員会			
	5日	予算特別委員会			
	6日	常任委員会・分科会			



～まちの未来が見える～

### 議会傍聴に おいでください

12月定例会は傍聴者延べ24人  
「次は3月定例会」



ちいき本棚  
無料アプリ「SideBooks」で「おが市議会だより」がご覧になれます。



マチイロ  
無料アプリ「マチイロ」で「おが市議会だより」を配信しています。



### 編集後記

▼今年、60年に一度の丙午強いエネルギーで道を切り開く年とも言われています。何事も「うま〜く」いく年であることを願って、躍動の年にしていきたいものです。

▼箱根駅伝3連覇の青山学院大学の原晋監督。毎年、強いチームを作り上げてくるマネジメント力はさすがです！チームの行動指針の一つ「今日のこと、明日やろう。明日はまた明日やろべきことがある」を教訓に、「一日一日を大切に」していきたいものです。

▼男鹿が少しずつ変わり始めています。ホテル開業、空き校舎を活用したパントリー、工場やデータセンター、陸上養殖、広告代理店等々。働く場所がないと言われてきた男鹿で、若い世代や女性、Aターイン希望者など、地元で活躍できる環境が徐々に整い始めています。持続可能な男鹿の未来に向かって、芽吹きがやがて大輪となることを信じて。

▼昨年は「クマ」に翻弄された1年でしたが、年明け早々も目撃情報！くれぐれもご用心ください。

(進藤 優子)

